

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	武雄北中学校
1 前年度 評価結果の概要	・コロナ禍で生徒同士の対話活動を手段とした学習活動を組むことが難しく、当初計画していた学びの深まりを実現することはできなかった。次年度は「主体的・対話的で深い学び」を、タブレットやリモートでの学習形態においても実現できるような工夫をしたい。 ・本年度は多くの行事が縮小や中止となり、生徒が主体となって企画・運営をする活動が大幅に減ってしまった。しかし限られた中で少ないながらもいくつかの行事を試行錯誤しながら実施し、達成感や自信を感じていた。「夢タイム」の活動も制限の中で工夫し実施したことで意欲的に活動できていた。次年度は、まだ限られた状況が予想されるが、また生徒に工夫をさせながら地域とともにある学習活動を展開させたい。
2 学校教育目標	「自ら学びを求める人」「志をもちゆめ実現を目指す人」「心身ともに健康な人」
3 本年度の重点目標	・自分で考え判断し、決定し自ら行動する資質の育成 ・たくましく生きぬくための心身の健康と体力の増進

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価			
(1)共通評価項目									
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・全職員がマイプランの達成度を振り返り、毎月記入する。		・		・		・
	○家庭学習の定着を目指した分かりやすい授業の実践	○810大作戦が実施できたと回答した生徒60%以上	・家庭学習として毎日ドリルプリントに取り組む。 ・課題の出し方や提示の仕方を工夫する。 ・タブレットを活用した家庭学習に取り組み、家庭学習の内容を工夫する。		・		・		・
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした生徒70%以上	・道徳科の授業において、学級全体で意見を出し合う雰囲気づくりに努める。 ・道徳科の授業づくりに関する校内研修等の実施をして、授業の質の向上を目指す。 ・人権集会の場を設ける。		・		・		・
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○気になる生徒や変化のあった生徒についての情報共有が職員間で確実に行われ、対応についての共通理解が図られていると回答した教員80%以上	・生徒指導協議会で気になる生徒について共通理解を図り、関係機関との連絡を密にし、生徒が安心・安全に生活できる環境をつくる。 ・生活アンケートを実施し、記述内容について学年、生徒指導を情報を共有し、いじめの予防、早期発見に努める。		・		・		・
	◎生徒が志をもち、夢や目標の実現に向けて自分で考え判断し、自ら行動するための教育活動	◎「将来の夢や目標をもっている」について肯定的な回答をした生徒70%以上	・行事を通して目標をもち、学級で認め合い、ともに高めあう雰囲気づくりに努める。 ・総合的な学習の時間を通して、地域のことを知り、地域のことを発信できるような学習環境を整える。 ・目標を常に持ち続けることができるように、行事や生活の中で、目標を立て、目標に対して振り返りを行う時間を設定する。		・		・		・
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の生徒80%以上	・自分の足で登下校するように指導する。 ・部活動開始を帰りの会終了後10分以内にスタートできるように全職員でサポートする。		・		・		・
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒90%以上	・食に関する専門的な知識や日ごろの生活で役立つことを、年間計画をもとに栄養教諭と連携して指導する。 ・朝食摂食率90%以上を目指した食育の指導を行う。		・		・		・
	○望ましい生活習慣の形成	○生活面全てで部活動時と同じ意識で生活する「24時間部活動」ができていると回答した生徒80%以上	・各部活動ごとに長期目標・短期目標を設定し、個人目標も同じように設定する。個人にはプラスして生活習慣にかかわる行動目標をひとつ立てさせる。玄関ホールに写真付きで掲示する。		・		・		・
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を職員全員が遵守する。	・タイムレコーダーを活用し職員の毎月の時間外勤務時間を把握し適切な指導を行う。 ・挨拶や声かけを大切にし、お互いが見守り合う組織作りを行う。		・		・		・
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目									
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
○学校経営・教育活動	○「夢プロジェクト」の推進	○武雄北中の一員として、「夢プロジェクト」に取り組んでよかった」と回答した生徒70%以上	全校生徒の一人一人の活動場面を保障し、できることから実践させることで、達成感を味わう機会を増やす。		・		・		・

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------